

図書の修理

こんなふうにしてみたら？

川西市立中央図書館バージョン(2016)

1. はじめに

(1) 確認すること

- ・返却されたときに、ざっと中身を見ておく。
- ・修理→まず判断する→どんな資料が、どのような状態か、どのような処置をするか。
- ・今回お伝えするのは長期保存ではなく、簡易な修理の方法なので、もし読みにくかったり破損が激しい本は、買い替えを検討したほうがよいです。

(2) 修理に使う主な道具

- ・はさみ
- ・カッター
- ・カッティングマット(大きめなほうが使いやすい)
- ・木工用ボンド
- ・定規(厚みがあり、カッター用の切りやすいものなどがよいです)
- ・山型クリップ(大きめがよい)
- ・輪ゴム(本をのりづけしたときに固定するのに使用するため大きめがよい)
- ・消しゴム(落書き、書き込みを消すのに使用)
- ・ブッカー(表紙などの破損に使用)
- ・ページヘルパー(本体のやぶれなどに使用)
- ・ゴムへら、筆(本にのりづけするのに使用)
- ・竹串(のど割れのときに使用)
- ・はがし液(セロテープをはがす時に使用、ミツワ・ペーパーセメントソルベントなど)